

ブレイクスルー

BREAK THROUGH

市政報告

一人を大切に
地域を大事に
未来を真剣に

市議会議員

増田 正博

TEL 0721-63-0347



広域合併・行財政改革の推進

新たな戦略モデルで大胆な革新を

件名1 活力ある市政実現へ行財政改革の推進について

質問 数値目標、事前・事後評価を明確にした先進の行政評価システムの導入時期を問う。

答弁 平成十二年度におきましては、専門的、第三者的な見地から民間の経営ノウハウを活用し、本市にとって有効な評価システムの方策の検討や問題点の整理または職員の意識づけを行うっていくための予算を計上している。今後、平成十二年度の検討を踏まえて早期導入を図ってまいりたい。

質問 市長を本部長にIT革命に対応する電子行政の推進を問う。

答弁 平成十年に自己電算システムを導入し市内に住民情報の共有できる基盤整備をしてきた。平成十二年度において文書管理システムを導入する予定です。個人情報保護など十分留意しながら、引き続き情報基盤の積極的な整備を図ってまいりたい。また高度情報化を進めていく人材の育成に努めてまいりたい。

質問 戦略的市政運営への総合企画、各部企画、充実の検討経過と取り組みを問う。

答弁 平成十一年十月の機構改革に際しましては、今後の政策展開上重要な部門については部と課の中間組織として室を新たに設置し、効果的で柔軟に対応できる担当制を導入するとともに、次長職を専任とし、各部における横断的調整機能の強化や政策形成能力の充実並びに進行管理の強化を図ってきた。今後におきましても総合企画と各部企画をうまく連携させながら第三次総合計画の理念達成に向けたまちづくりを進めてまいりたい。

件名2

環境を守る生活環境整備について

質問 本市の環境ISO14000シリーズの取得時期を問う。

答弁 環境ISO認証取得を視野に入れ、まず全職員の意識改革が不可欠との認識に立ちまして各種研修の実施など意識啓発を図って行かなければならないと考えております。いずれにいたしまして、環境ISO取得につきましては、行政として率先行動計画の策定作業にあわせて検討してまいりたい。

質問 資源ごみ2回収集、リサイクル品目の細分化及びPFIを視野に入れたりリサイクルプラザの早期建設を問う。

答弁 資源ごみの複数回収集を行っている府下の自治体が増加傾向にあり、本市におきましてもこのような府下の動向も踏まえて積極的な対応を取ってまいりたい。今後、その拠点となるリサイクルプラザを視野に入れながら、本市におきましても新たな分別収集システムのあり方について総合的に検討を進め、早期に結論を出せるように取り組んでまいりたい。分別収集計画の策定に当たってはPFIの活用につきましても研究してまいりたい。一時間当たり五十キログラム未満の未規制の小型焼却炉につきましても市広報紙等を通じて適正な処理方法等の啓発に努め、ダイオキシン排出抑制に取り組んでまいりたい。



件名3 共に生きる豊かな市民生活の創造について

質問 緊急通報システムとの二十四時間福祉型第一通報先看護婦や相談員にした)への更新を問う。

答弁 平成十二年度におきまして、第一通報先を看護婦や相談員を配置した民間の受信センターに切りかえていきたいと考えています。

質問 子育て支援センター事業の推進計画を問う。

答弁 平成十二年度におきまして建設予定の子育て支援センターを総合的な子育て支援の拠点施設である中核センターとして位置付け中心として支援施策の推進を図る。新たにファミリーサポートセンター事業を推進し、子育て支援の積極的な推進を図ってまいりたい。



件名4 活力を産む 産業・経済の活性化について

質問 観光振興ビジョン(観光産業振興計画)による閑空を基点としたユニバーサルスタジアムを視野に入れた魅力ある集客都市づくりの、現在の状況とその取り組み状況について問う。

答弁 平成十二年度におきましては、平成十一年度の調査をもとに観光客の増加させるための方策や、観光客単価を上げる方策等検討しながら計画を策定してまいりたい。

質問 本市の高度情報化の推進とマルチメディア情報都市推進について問う。

答弁 今後の活力あるまちづくりに向けた環境共生ゾーンの土地利用の展開に際しましては、質問の内容も含めて考えたい。

平成十二年度第一回定例会特集

循環型社会基本法が成立

「ごみ・ゼロ社会」実現へ前進

民主党のみ反対、環境より政略優先

公明が立法化を一貫してリード

参院は二十六日午前の本会議で、循環型社会形成推進基本法を自民・保守、公明党・改革クラブと、社民・共産、参院クラブなどの賛成多数で原案通り可決成立した。民主党のみが反対し、国の環境政策の推進よりも、衆院解散、総選挙を念頭に、政府・与党との対決姿勢を印象づけたという政略を優先させた。これにより、環境問題に対する民主党の不熱心な姿勢が明確になった。

循環型社会形成推進基本法は、公明党の提案を受けて、昨年十月の連立政権発足時に、「二〇〇〇年度を循環型社会元年」と位置付け、基本的枠組みとしての法制定を図ることを連立与党が合意。これを受けて、まとめられたもので、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会から、資源を有効に活用することで環境への負担をできる限り少なくする循環型社会へ変革することを基本理念としている。その上で、「ごみ」の扱いについて、排出抑制リデュース、再利用リユース、再利用リサイクル、熱としての再利用、適正処理、という優先順位を明らかにし、国や地方自治体、事業者、国民のそれぞれに対する責務を定めており、「ごみゼロ」社会実現へ、初めて国民に「進むべき道」が示される(読売新聞4月18日)。

基本法の規定には、「ごみを出す事業者が環境に悪影響を及ぼした場合に原状回復の費用を負担する義務を負う排出責任、製品の設計段階から「ごみ」を極力出さないか、あるいは再利用しやすいように工夫する拡大生産者責任」環境大臣来年一月の中央省庁再編で誕生が二〇〇三年十月までに循環型社会形成推進基本計画を策定し、閣議決定を求める。同計画の実施状況を毎年、国会に報告し、五年ごとに見直す。など、公明党の主張が数多く盛り込まれている。

基本法制定に当たって公明党は、昨年七月の臨時党大会で決定した基本政策の中で、他党に先駆けて循環型社会構築の必要性を提言し、党内にプロジェクトチームを設置して研究を重ねてきた。また、政策合意を受けて設置された与党のプロジェクトチームにおいても、独自の法案を提案するなど、終始議論をリードしてきた。

なお、同日の参院本会議では、「ごみを出す事業者の責任を強化することを柱とした、改正廃棄物処理法循環型社会形成推進基本法の関連法」が全会一致で成立した。

公明が大きな役割果たす

安田八十五筑波大教授

「環境元年」といわれた1990年から、ちょうど10年後を「循環型社会元年」と位置付け、循環型社会形成推進基本法が成立したことは、大変意義のあることだ。

関連の法律も次々と成立しており、資源を有効に活用し、ごみの発生を極力抑え、地球環境を保全する循環型社会を開き、前進させるという意味で、素晴らしいことだと思う。

今回の基本法制定に当たって、独自の法案を提案するなど公明党が果たした役割は大きかったと思う。数年前から政策の準備をしてきたことを知る一人として、その苦勞をたたえたい。

今後は、この法律の実効性をより高いものにするため、アクションプログラム(行動計画)の策定や関連の法律で定められる具体的な施策の推進、事業者負担の徹底などに、先頭立って頑張してほしい。

公明新聞 5月27日(土)発行より抜粋

市民相談の 実績コーナー



楠ヶ丘入口のしつとう屋前交差点の新設の高向
南の地点表示板

カネボウマンション(上田町)へ 防犯灯の新設実現

平成十二年三月

喜多町からカネボウマンション(上田町)までの区間の市道が、道路照明がないことから子供達や女性の夜間のマンションへの帰宅に防犯上の危険性をはらんでいるので早急に設置して欲しいとの、市民要望からマンションの自治会と協力しながら防犯灯(四十ワットの水銀灯)を八基新設することができました。

三日市小学校通学路へ 防犯灯の新設実現

平成十二年四月

楠ヶ丘より三日市小学校を経て上田町へ抜ける旧高野街道に上田町自治会と協力して防犯灯(四十ワット水銀灯)十基の新設を実現致しました。以前より同地区は、防犯灯が少なく小学生の通学道路でもあることから防犯上の問題として早急な改善が望まれていました。



南花台公民館方面への国道より市道
の一昨年設置の案内表示板

案内板、地点 標識など設置

河内長野市は昨年度末から、公共施設や主要道路への行き方を、案内板で示す都市サイン事業として、主要道路の交差点上に地点標識を設置する事業に着手しているが、このほど青葉台への案内板が設置されたに加え、南花台には地点標識がお目見えした。市議会公明党の増田正博議員が一九九五年三月の定例会本会議を皮切りに四回にわたって取り上げるなど、一貫して推進してきた。市では、市内百五十三ヶ所の交差点などを対象に順次、標識等を設置していく方針だ。(公明新聞五月八日号より)



市道南花台1号線の南花台交差点に新設されたローマ字入南花台地点表示板

三日市府営住宅より高野街道へ 防犯灯の新設実現

平成十一年四月

三日市府営住宅より旧高野街道までの区間二灯ある防犯灯が設置年数が古く、照度をなくしていることから既設の二灯の交換と三灯の新設による防犯灯(四十ワットの水銀灯)五灯を自治会と協力して設置することができました。これで女性も夜間通行が安心です。

青葉台・南ヶ丘方面への国道より市道の案内表示板新設(南花台設置に引き続き)



加賀田中学校通学路の東部下町内会集会所より北青葉台へのさびた階段手すりのペンキの塗り替え実施



加賀田川の加塩バス停横の竹やぶの大阪府による伐採実施



点字ブロックの新設美加の台アーバン1番館前交差点



美加の台アーバン2番館の屋外駐車場への法面整備によるコンクリートの通路設置



点字ブロックの新設美加の台郵便局前交差点



美加の台1丁目美加の台自治会第2集会所へ郵便ポストの新設(近所にポストのない不便解消)



大矢船北町の加賀田交番前ふれあい花壇の推進による潤いのある街作り